

## 2019（平成31）年度事業報告

我が国経済は米国と中国の貿易戦争の世界的な影響を受けながら、米国景気に牽引され、個人消費にも下支えされ、さらにオリンピック関連工事などの影響もあり緩やかに推移してきた。しかしながら3月に入り新型コロナウイルスの影響があり急激に下振れした状況になっている。

一方、超高齢社会を迎えた現在の我が国において、高齢者に期待される役割は、新型コロナウイルス対策で明らかになったように、従来にも増して自立心の涵養と社会との係わりを深めることが求められている。また平均寿命と健康寿命の差を少しでも縮め、元気に活動できる期間を伸ばすことが課題とされている。

このような背景のもと、当協会は、高齢者の社会参加活動を積極的に支援するためにチャリティコンサートをはじめ、「認知症予防活動」や「世代間交流活動」等各種の社会貢献活動や多彩なイベント活動を展開し、また地域社会との係わりを一層深めるために、地域会活動のさらなる充実と強化を図ってきた。

以下、当期事業活動について詳述する。

### I 公益事業…高齢者の社会参加支援

#### 1. 社会参加支援事業（定款第4条第1項第1号事業）

##### ① 社会貢献事業

##### イ. チャリティコンサート

6月22日（土）に六本木のハリウッドホールで第15回チャリティコンサートを開催した。福祉施設利用者及び職員約300名を招待、その他入場者約307名と合せ607名のコンサートを実現させることが出来た。普段、生の音楽に接する機会の少ない特に車いすや声を出す子供たちの招待者には喜んでいただき、多数の礼状が届けられた。また、本行事に対し昨年引き続き本年も東京都善意銀行から感謝状が授与された。

一方、広島支部では昨年引き続きエリザベト音楽大学との共催で留学生支援のためのチャリティコンサートを開催した。会場は同大学のセシリアホールで、会員question70名が参加した。

##### ロ. 施設入居者作品の販売協力

11月7日（木）開催の「第20回はつらつふれあいの集い」において、「虹の子作業所」入居者作品の販売協力を行った。

##### ハ. 寄付

関東：エンディングノート「私の大切な覚書き」の前年度頒布実績の1%のうち10万円を前年同様東日本大震災および原発事故の影響が残る福島県双葉町教育委員会に寄付した。

また、埼玉会では前年同様独自にワンコイン運動を展開し、各種イベント参加者から寄託された金額を原資に6万円を当協会の民間社

会福祉活動の推進を目途とした「ひまわり基金」を通じ社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会へ寄付した。本件について埼玉県社会福祉協議会から感謝証が授与された。

広島：例年同様留学生支援のためのチャリティコンサートのチケット売上代金から10万円を公益財団法人広島平和文化センターに寄付した。この寄付金は広島市在住の留学生を支援するための「ひろしま奨学金」の原資に充当される。

## ニ. 留学生との交流・支援（広島）

留学生との交流会を7回実施、参加者は留学生延べ136名、会員他延べ117名合計253名であった。交流会の他、留学生との食事会を2回、卓球大会を3回実施した。

## ホ. ボランティア活動（広島）

『国際交流・協力の日』の会場受付・案内・整理、緑地帯横断安全誘導のほか「桜の木を育てる会」の活動を実施し、ボランティア活動への参加者は年間延べ148名となった。

## ヘ. 認知症予防事業

世田谷区下北沢で、平成22年6月以来毎月1回認知症予防事業「きたざわサロン」を開催している。バラエティに富んだ内容が好評で、参加者は毎月の開催を楽しみにしており事業として定着した。参加者の高齢化が進んでいることが課題。

## ト. 世代間交流事業

平成26年4月から毎月開催していた「シニアサロン杉並」は平成27年11月から「かがやきサロン杉並」に衣替えした。参加高齢者にはライブ音楽を楽しんでもらうほか、高齢者に必要な情報の提供等を行っている。併せてシニアと若い世代が協力して住みよい街作りにつなげるよう活動を続けている。本活動は平成30年2月に杉並区教育委員会から後援名義の使用を承認され今年度からは区の広報にも掲載され約50か所の掲示板にも張り出し外部の参加者も増えているが会場が狭く開催に苦労している。

## チ. ペットボトルキャップ、使用済み切手の回収

平成20年に開始したペットボトルキャップ回収は、本年度分23.31kgで累計816.76kgに達したこれはポリオワクチン817人分に相当するとのこと。使用済み切手の収集も継続実施している。

### ② 就業支援事業

株式会社高齢社を会員に紹介し、就業希望者は同社に申込み制度を整えている。本年度は希望する職務と提供される職務がマッチしなかったため、就業実現には至らなかった。今後広く会員の経歴、特技を収集し就業先情報も積極的に拡大したい。

### ③ 生活情報提供事業

イ. 「私の大切な覚書き」(エンディングノート)

万が一に備え、残された親族等に対し、本人の考え方や希望などを整理し、記録しておくための廉価でコンパクトなエンディングノート「私の大切な覚書き」を作成している。10年目の本年度は約18千部を頒布し、累計の実績は37万部を超えた。

- ロ. 相続税、介護保険制度、マイホームの健康診断(耐震予防)、賢い生命保険の選び方について過去に発行した「シニアライフかわら版」をホームページに掲載し、広く一般に公開した。また、当協会理事が共著者となっている「高齢者向け住まい&介護に備える入門ガイドブック」の斡旋販売を行った。

④ イベント事業ほか

イ. イベント事業

幅広いイベントの実施は高齢者の「社会参加と生きがい」「自立と助け合い」につながる重要な行事である。各イベントは運営委員の努力と参加会員・一般参加者の協力により、活発に展開されている。平成31年度は関東22、広島29の同好会でイベント(別紙参照)を実施、年間の延参加人数は約8千人を超えている。

ロ. 地域会活動

関東地区は活動地域が広域なため、神奈川県(神奈川会)、埼玉県(埼玉会)、東京多摩地区(西東京会)、東京23区及び千葉県(京葉会)の4地域に分け、それぞれ地域会を置いて地域に密着したイベント活動を行っている。

ハ. 広島支部の主な活動

二木会：毎月開催	年間延出席者数 875名
世話人交流会：年1回	出席者数 70名
各種幹事会：年8回	出席者数 197名

2. 対外事業(定款第4条第1項第2号事業)

1月20日(月)開催の内閣府主催「高齢社会フォーラム in 東京」に参加し、また当協会が会員となっている高齢社会NGO連絡協議会が10月20日(月)に開催した「人生100年時代市民主体の社会教育を考える」に出席するなど各種団体との共同事業を模索している。

3. 研修・講座事業(定款第4条第1項第3号事業)

イ. ふれあいトークサロン

7月31日	「朝鮮半島最新事情～わたる世界は難ばかり」	加藤達也氏
12月2日	「私と東京ゴミ戦争」	今野 雅隆氏
1月31日	「聞こえとコミュニケーション」	橋本道明氏

#### 4. 広報事業（定款第4条第1項第4号事業）

##### イ. 機関誌「マチュリティ」

外部関連団体、法人・個人会員向けに7月と1月の年2回発行。

社会貢献活動の状況と成果、時宜にかなった特集記事、ふれあいトークサロンの講話、談話室、ひとこと、イベントだより、各地域会だより等、協会と会員の活動に関する記事を掲載し、外部への広報と会員相互間の啓発および交流をはかった。

##### ロ. ホームページ

協会の概要、事業報告等の情報公開、イベント活動報告、機関誌「マチュリティ」全文などを掲載している。また、入会申込や「私の大切な覚え書き」注文のほかイベント申込がホームページからも来るようになった。定期的な見直しを継続し動画の数も増やしたこともあり、閲覧回数が継続的に増加している。ホームページを見た遠方の方が会員になる例もあった。

### II 収益事業

#### 1. コンサルティング事業（定款第4条第1項第6号事業）

勤労者向け福祉活動の一環として企画された「福利厚生施設のアウトソーシング」事業に協力、企業の採用にともない仲介手数料収入を得ている。当協会の財政基盤強化に向け会員を増やしていきたい。

### III その他事業

#### 1. ニュース発行事業（定款第4条第1項第6号事業）

法人・個人会員（非会員を含む）むけにイベント案内などを行う。

発行頻度は関東年6回（偶数月）、広島年6回（奇数月）となっている。文書による案内を郵送するほか、ホームページにも掲載して広くイベントへの参加を呼び掛けている。

#### 2. 親睦事業（定款第4条第1項第5号事業）

##### イ. 「はつらつふれあいの集い」個人会員親睦会

2019年11月7日、日暮里のホテルラングウッドで開催。参加者114名。各イベントの活動を紹介するパネルを展示したほか、プロの落語家、歌手や会員の歌や踊り等のアトラクションで盛り上がった。運営に当たっては協賛各社・団体（\*）にご協力をいただいた。

（\*）雲海酒造（株）、京谷酒造（有）、霧島酒造（株）、宝酒造（株）、丸大食品（株）、宮崎県東京事務所、（株）ミツウロコグループホールディングス

##### ロ. 広島支部 新年懇親会

2019年1月16日、広島市文化交流会館で開催。参加者141名。会員に

よる謡曲、邦楽演奏を中心に懇親を深めた。

#### IV 当面の課題…運営基盤の強化

##### 1. 法人会員

2019年度は退会が1社あったため年度末現在の会員数は27社・団体となっている。引続き会員の獲得に取り組む。また現会員への連絡・報告を密にし、一層の支援を得るよう努める。

##### 2. 個人会員

協会活動のさらなる活性化のために会員獲得につとめたものの、高齢化に伴う退会者が入会者を大きく上回ったため会員数は年間85名減少した。年度末現在の会員数は次のとおりである。一般高齢者にも協会の活動を広くPRし、なお一層の会員増を目指す必要がある。

関東地区 779名（うち正会員 474名、家族会員 305名）

広島地区 625名（うち正会員 428名、家族会員 197名）

合計 1,404名（うち正会員 902名、家族会員 502名）

なお、関東地区で会員のイベント参加実態を調査したところ、参加率が約60%と判明したことを受け、機関誌「マチュリティ」で会員に積極的なイベント参加を呼びかけると共に、会員紹介やイベント参加者にポイントを付与する「ポイントカード」の新設や協会の認知度向上に向けセカンドネームを設けた。これらの活動を一過性のものに終わらせないことが肝要である。

##### 3. 財政基盤の強化

法人会員・個人会員からの会費増収に加え、コンサルティング事業及び「私の大切な覚書き」の頒布や新規事業の開発に引続き積極的に取り組むと共に、事務処理の改革など効率的な業務運営に努める。

当協会の公益活動について広く理解を求め、各界各層の賛同を得て多くの会員から寄付金が寄せられているが、今後は幅広く外部からも寄付が募れるよう取り組んでいきたい。

以上

## 別表

## イベント活動一覧

	(関東)	(広島)
野 外 活 動	鎌倉探訪	ゴルフ同好会
	江戸東京歴史散歩の会	テニス同好会
	自然を楽しむ会	釣り同好会
	ゴルフ会	社会見学会
	園芸クラブ	木楽会
	デジカメクラブ	朱樹会
		歴史探訪会
		四季の会
		園芸盆栽同好会
		野鳥観察の会 (休会中)
		写真を楽しむ会
		旅を楽しむ会
		山を歩く会
		卓球クラブ
	グランドゴルフを楽しむ会	
	エスキーテニス同好会	
	なば愛好会	
文 化 活 動	サロンコンサート	四風会 (麻雀)
	囲碁会	囲碁同好会
	男声合唱クラブ	謡を嗜む会
	水墨画教室	まほろば句会
	歴史を考える会	がんす川柳会
	パソコンクラブ	写画ーる会
	カラオケ会 I	男性料理教室
	カラオケ会 II	PC・DC を楽しむ会
	詩吟会	陶芸同好会
	築地・海鮮井川柳会	詩吟を楽しむ会
	観劇会	女性バラエティ同好会
	MCC	演歌ミニ道場
	竹とんぼ同好会	
	四季の会	
ふれあいトークサロン		
絵手紙&小品絵画教室 (休会中)		
地 域 活 動	神奈川会	
	埼玉会	
	西東京会	
	京葉会	